

季節の虫暦 ⑦

著者 医学博士・農学博士 林 晃史

〈厨房の小さな悪魔コバエ〉

例年だと五月の連休頃には、シロアリの多発が話題になるが、今年はそれが無かった。しかし、意外な虫達
が、方々で出没し、わずかながら「虫前線」を活性化させてくれた。

その虫は、コバエ類と云う小型のハエ達で、その代表がチョウバエ (M o t h · f l i e s) と呼ばれるハ
エである。

このハエ、わが国では、もともと人に禍をもたらす性質の虫では無かった。それが、にわか問題になっ
てしまったがその理由を考えたい。

チョウバエを問題虫にした原因は、人の生活環境が大きく変った所にある。その一つが、身近な快適さを求
め、汲み取り便所に替って水洗便所と浄化槽を普及させたために起った所産なのである。

汲み取り便所の悪臭は、水洗便所にする事で無くなったが、槽内のスカムがチョウバエを育む格好の場所
となるなど夢想だにできなかった。チョウバエは、人間が造り出した、新たな害虫なのである。

なんと云うことは無い、汲み取り式便所のセンチクバエが、水洗便所のチョウバエに交替しただけのこと
である。

これからが、このチョウバエのシーズンで、ホテルやレストランのトイレの壁面、地下飲食街の調理場など
各所で、成虫の姿が目立つようになる。

厨房内の排水溝から発生したチョウバエが、店内や調理場付近の壁面に点々と静止している様は、不快感を
超えて怖さを感じさせるものがある。

この虫の生態だが、成虫の寿命は14日前後で、雌の成虫は一生に少なくとも100個の卵を産む。

卵は、2日前後で幼虫になるが、これが人の泌尿生殖器、消化器、気道、眼瞼内などに迷入し、「ハエ症」
を引き起こすと云う厄介者である。成虫は、発生源が不潔な場所だけに、何を伝播するか判らないので油断
が出来ない。

食品工場などでは、製品に混入する事故もあって、問題害虫で
ある。

チョウバエ対策には、幼虫期と成虫期のふたつがある。幼虫対
策は、施設内の排水溝など小規模な所では、蓄積物をよく洗浄
除去し良く乾燥すると良い。特に、排水溝の「糞の子」の裏側
を入念に洗浄することが大切。

成虫の場合は、トイレ周辺などならば、市販の空間噴霧剤で容
易に駆除出来る。また、成虫は、夜間活動性なので、夜間にラ
イトトラップにより補足するのもひとつの手法である。

いずれにしても、「発生源」が限られているので、これを特定
して殺虫剤による化学的駆除を行う必要がある。チョウバエ
は、厨房の小さな悪魔である。もうひとつ、コバエの仲間にも
ミバエと云う厄介者がいる。



〔写真説明〕

小さな悪虫、チョウバエの成虫
(厨房の水周りを発生源とする)

環境コラム く個人からの地球温暖化対策をく

今、世界中で最も注目を集めているものの1つに地球温暖化問題があります。サミットがある度に話し合われているのですが、中々進展がないのが現状です。地球に危険が迫っている今、個人個人の手から地球温暖化対策を考えてみませんか？



地球温暖化は、主にCO₂（二酸化炭素）の増加によって起こります。CO₂は太陽光によって暖められた熱を宇宙に逃がさない性質をありますので、CO₂の増加が地球温暖化の大きな要因となります。

逆に言えば、私たち1人1人がCO₂の排出を減らす事により、温暖化抑制に繋がるのです。その輪が広がれば、温暖化抑制により大きな力となるでしょう。

小泉前首相が流行らせた『クールビズ』。今年はこれで夏を越してみませんか。

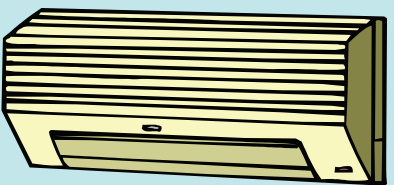
そもそもクールビズとは何でしょう？

「ネクタイをしない事：：？」
いやいや、そうではないのです。

【夏にエアコンを28℃に！】

その為に、涼しく過ごす為の工夫をする事を指しているのです。つまりネクタイをしない事もその一環で、しない事により体感温度が2℃下がると言われています。

現在、日本で使用されている電気エネルギーの大部分は、石油・石炭・天然ガスなどを燃焼させて作られます。電気エネルギーを生み出す為に大量のCO₂を排出している訳です。



家庭の電化製品の中で、最も消費電力が大きいのがエアコンです。特に夏や冬になるとその電力量は大幅に上がり、1年を通してみても、家庭に使われる電力量の約25%を占めています。



冷房の設定温度を1℃上げ、暖房の設定温度を2℃下げるだけで、消費電力を約10%抑えることができます。その目安は冷房で28℃、暖房で20℃と言われています。（因みに、冬に暖房設定温度20℃で暖かく過ごす為の工夫をウォームビズと言います。）

湿度が高く蒸す時は、除湿機能を使用してみましょう。湿度が15%下がると、体感温度は1℃下がると言われています。

忘れがちなのが、フィルターの掃除です。ホコリで目詰まりしてしまうと、風量が低下し効率が悪くなります。こまめに掃除機で吸い取るようにしましょう。



また、アロマなどの香りを使用するなど新しい試みも続々と始まっています。皆様も、これからの夏の季節に自分だけの『クールビズ』を実行してみませんか？